

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社めぐみ	代表者	坂本慎吾	法人・事業所の特徴	「お一人お一人の思いを大切に、健やかな日々が送れるよう支援します。地域の皆様に愛される施設を目指します。」を理念に掲げ、代表の自宅を改造し、地域の中で家庭的な雰囲気での支援を行っている。利用者だけでなく、地域の方々にも気軽に相談できる場所として運営を行っている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護めぐみ	管理者	大車沙織		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1	1人	7人	1人	1人	人	人	11人	人	22人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>①利用開始2～3週間後に初期モニタリングを行い支援内容を確認する。</p> <p>②言葉にできない人の思いを大切に、一瞬の表情を見逃さない。</p> <p>③食事支援(生活支援)の際には後片付け(午後の作業)を優先せず、時間のかかる人には食事が終わるまで片付けない。</p> <p>④地域外の利用者の自宅での暮らしぶりが把握できていない部分が多い。モニタリング、送迎など機会あるごとに情報を得る。</p> <p>⑤茶話会など地域の人を巻き込んでの行事を企画する。</p> <p>⑥介護保険の活用等出前講座を計画・実施する。</p>	<p>①利用開始後改めたモニタリングを行っていない。しかし、関わりの中で支援が適切かは確認しておりそのことを記録に残す必要がある。</p> <p>②「～したい」と自分の希望を言葉にできない人の方が多いが、日々の支援の中で外出したいなど上がった時は適宜対応するよう図った。</p> <p>③目標を意識し、ゆっくり食べる人には食事が終わるまで待って食器を片付けた。</p> <p>④地域外の利用者の暮らしぶりの把握はできていない。送迎時に家族に会わないことも多い。今後も自宅での暮らしぶりに関心を注ぎたい。</p> <p>⑤茶話会は開催できなかったが、平成28年4月21日穴井公民館にて地域の方を対象とした出前介護</p>	<p>色々取り組み、実施されている。</p> <p>改善できていない計画については今後も取り組まれない。</p> <p>真剣に取り組まれたことは、皆さんの振り返りになり有効だと思う。</p>	<p>①利用開始2～3週間後に初期モニタリングを実施し、本人家族の状況の把握に努める。</p> <p>今の支援で良いこと、喜んでもらったことも具体的に記載する。</p> <p>②一人一人の「本人の目標(希望)」介護計画の表紙に明記する。</p> <p>③自分たちの仕事の段取りを優先せず、利用者のペースに合わせる。</p> <p>④地区外の利用者の自宅での暮らしぶりを把握する。</p> <p>⑤利用者だけでなく地域の方も緊急の避難時状況により受け入れる。</p> <p>⑥ケアマネージャー・管理者だけでなく、スタッフも自治体等の会議に参加する。</p> <p>⑦苦情とはいえなくても、日頃の訴えを見逃すことなく、気付いたことは職員で共有し対応策を検討する。</p> <p>⑧研修で学んだことは繰り返し実践し定着させる。</p> <p>⑨ミーティングの時はテレビをつけておく。利用者の前で他の利用者の報告をしない。</p>

	<p>⑦苦情はなくても、日常の小さな訴えを苦情として見逃さないようにする。気付いたことは共有し、対応策を検討する。</p> <p>⑧学習（研修）して来た事は、繰り返し実施し定着するようにする。</p> <p>⑨個人情報を大切に、利用者の中で他の利用者の事を話題にしない。</p> <p>ミーティング中はテレビをつけたり、音楽を流したりして職員の話が耳に入らないように工夫をする。</p>	<p>講座の主催を行うことはできた。</p> <p>⑥愛媛県在宅介護研修センターに講師依頼して公民館で介護講座を実施。地域の方、市内の介護事業所の職員など70名ほどの参加を得た。</p> <p>⑦今計画期間内も苦情として捉えられる相談ごとはなく経過。しかし家族からの相談、その対応については適宜職員間で周知を行った。</p> <p>⑧研修報告を行い、習得してきた感染症対策についての知識、レクレーションの内容等は研修後ただちに実践し、定着するよう図った。</p> <p>⑨申し送りの際はテレビをつけることで意図的に会話が聞こえない様図る。業務中の利用者にかかる職員間の情報伝達も奥の和室で行っている。</p>		
<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<p>道路沿いにある専用駐車場の看板に事業所の位置が分かる案内を表示する。</p> <p>段差の解消は難しいので、階段の意味など説明し理解を得る。</p>	<p>専用駐車場を新しく作り直した。</p> <p>玄関前の段差は解消出来ないで、段差を利用した車椅子操作のデモンストレーションなどを行っている。</p>	<p>玄関前の階段の意味は理解できた。段差のある場所での車椅子の操作の方法もわかった</p> <p>駐車場の看板が新しくなってよくわかるが、電話番号が書いてあっても電話を掛ける人は無いと思う</p> <p>事業所の前を通るといつも料理のおいしそう匂いがする。思わず</p>	<p>特になし</p>

			<p>笑顔になる。 いつでも気軽に入ることが出来る。</p>	
C. 事業所と地域のかかわり	<p>地域の方との交流を目的にした茶話会など利用者以外の人と一緒に時間を過ごすことを企画する。 講師を招いて最後まで地域で暮らす方法や介護保険の活用などについて、出前授業を企画する。</p>	<p>地域の人との茶話会は実施できていない。 愛媛県在宅介護研修センターの金田由美子先生を講師に「認知症の理解」の講演会を実施する事ができた。 地域の方、市内の事業所の職員など70名の参加があり好評だった。</p>	<p>地域の方が事業所の利用者を招待してカラオケ歌謡ショーを開催してもらったり、職員が地域の行事の模擬店の手伝いをしたりとお互い協力で来ている。 小・中学生が授業の一環で高齢者との交流に年数回訪問をしてくれたり、利用者が学校の参観日や講演会・コンサートなど参加したりと交流が出来ている。 地域の子供たちにとっても有難い存在です。 金田先生の出前講座（認知症の理解）はとてもわかりやすく地域の方々の評判も良かった。 是非また企画してほしい。</p>	<p>事業所が地域に対して出来ることをアピールする。</p>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<p>真穴地区以外の利用者については、ケアマネージャーが、月に一度は連絡を取りその地区との関わりや行事等を聞き、参加できるものには参加する</p>	<p>地区外の行事に参加する事が無かった。</p>	<p>地域内の方については商店の方からの情報で支援内容を変更したり、毎日買い物の内容などをチェックし古い物を処分するなど連携した。 毎朝の服薬介助も自宅にいない時は散歩コースを探し確実に服薬する事ができた。</p>	<p>地区外の利用者の地区行事と一緒に参加する。</p>

			<p>配食や安否確認など自宅を訪ねる事が多いので地域の方との交流にもなっている。</p>	
E. 運営推進会議を活かした取組み	<p>地区外の利用者がある場合はその地区の民生委員さんにも運営推進会議の参加の声掛けをしてみる。</p>	<p>民生委員さんの交代を機に隣の地区の民生委員さんに委員を依頼した。</p>	<p>運営推進会議は活発に意見交換がされてとても有効だと思う。</p> <p>会議の中で認知症のことや接し方など勉強になり、自分の家族の介護にとっても役立っている。</p> <p>地域の人のが話題になり、会議で話した人が利用に繋がり、地域の心配事が解消した。</p> <p>事業所・民生委員・独居の見守り・老人会などみんなで地域の老人を見守っている感じがして安心だ。</p>	<p>運営推進会議の内容を家族にも報告する。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	<p>現在策定している防災マニュアルを運営推進会議で提示して検討してもらいより具体的なマニュアルを策定する。</p> <p>地震・津波・火災・風水害・原子力事故などいろいろな災害を想定した訓練を実施する。</p>	<p>マニュアルを委員の人に見てもらい意見をもらった。</p> <p>地震・津波・火災・原子力事故の想定訓練は出来たが、風水害の避難訓練は実施できなかった。</p>	<p>通所時でない時の災害時、近所の方の声掛け誘導など地域の方にも気を付けておく必要がある。</p> <p>6月の地滑り非難の時「すぐにショートステイが出来た」と聞いた、有難いと思う。</p> <p>事業所の避難訓練も見てみたい。</p>	<p>避難訓練を運営推進会議の時に実施し、意見をもらう。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 7 月 8 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)
------------------	-----	---------------------------------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	伊賀、今本、古能、清水、大森、大車、坂本 (慎)、菊池、浅川、坂本 (孝) 中村
--------------------	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	3人	2人	人	10人

前回の改善計画	利用開始 2 ~ 3 週間後に初期モニタリングを行い支援内容を確認する。
前回の改善計画に対する取組み結果	初期モニタリングであまり変更の希望が無い場合、積極的に確認のモニタリングが実施されていない。しかし、初期の支援では通所日を決めないで本人が通所する気持ちになるまで、訪問で対応し様子を見るなど支援内容を都度確認し柔軟に対応できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	4			10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	7	3			10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7	2			10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	7	3			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
初回面接では、「今何に困っているか。どんなことを希望して利用を考えているか。」に焦点を当てて面接を行っている。小規模多機能型居宅介護の機能について説明し、今後も困ったことや問題が発生したときは柔軟に対応できることを伝えている。そうすることでご家族・利用者が安心できる様になっている。利用当初、通所に拒否がある時期には毎日訪問し、本人の出先で水分補給や服薬介助することで通所が可能になったケースもある。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
初期モニタリングを 3 か月後に決めて評価しているため、利用当初は細かく対応している割にはその内容が記載されておらず気持ちの確認が出来ていない。本人・家族の満足を当たり前にしており、それを「満足されている」など記録に残せていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用開始 2 ~ 3 週間後に初期モニタリングを実施し、本人・家族の状況の把握に努める。喜んでいただけたこと、今の支援で変更の必要が無いことなど具体的に記載する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 8 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 伊賀、今本、古能、清水、大森、大車、坂本 (慎)、菊池、浅川、坂本 (孝) 中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	2人	人	10人

前回の改善計画
言葉にできない人の思いを大切にし、一瞬の表情を見逃さない

前回の改善計画に対する取組み結果
「～したい」と自分の希望を言葉にできない人の方が多い。外出・ドライブなど楽しそうな表情をされることがあるのでそれを支援の喜びとしている。外出から帰設した途端「どこにも連れて行ってもらわん。つまらん」と言われることも多い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		5	4	1	10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7	2	1	10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	5	3		10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	7	1		10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
「現在の生活を維持し最後まで地域での暮らしを続けたい。」という目標を掲げている方が多い。
疾患を抱えながら入院生活を選ばず、地域での暮らしを選択されショートステイを利用しながら自宅での暮らしを継続できている方もある。
独居ながら「自宅で暮らしたい」の思いを大切にし、訪問、配食などの支援をすることで自己実現できているケースもある。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
「本人のゴール」が把握できていないこともある。
事業所では、地域での暮らしの継続は可能と思っても、家族が介護を負担に感じ施設入所を決められることがある。ショートステイでは家族の介護負担の軽減にはつながらず本人の思いを叶えられないこともある。
「毎日、外出したい」「ずっと寝ときたい」など本人の意思を叶えられないことも多い。
利用者の体力に差があり、外出レクなど実施が困難になっている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
一人一人の「本人の目標 (ゴール)」を介護計画の表紙に明記する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 8 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 伊賀、今本、古能、清水、大森、大車、坂本 (慎)、
菊池、浅川、坂本 (孝) 中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	5 人	1 人	人	11 人

前回の改善計画	食事支援 (生活支援) の際には後片付け (午後の作業) を優先せず時間のかかる人には食事が終わるまで片付けない。
前回の改善計画に対する取組み結果	目標を意識し、最後まで本人のペースを守ることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	1	4	6		11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	3			11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	7	1		11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	3			11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6	4	1		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
食事や入浴、排泄の介助は本人の状況に合わせた介助が出来ている。排泄の状態を記録し緩下剤の調整をしたり、本人のペースで 1 時間 30 分ほどかけて自分で完食される人もある。入浴も毎日入りたい人、週 2 ~ 3 回の入浴も拒否する人などあるが柔軟に対応できている。入浴時の全身の状態 (傷・打ち身・湿疹) や熱感・表情など変化に気付いたら即時に共有し対処できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者の以前の暮らしぶりの把握はあまりできていない。独居の方の暮らしぶりは遠方にいる家族もわからないことが多い。 食事の片付けや早くからの弁当の準備などまだ自分たちの段取りを優先させていることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
自分たちの仕事の段取りを優先させない。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 8 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 伊賀、今本、古能、清水、大森、大車、坂本 (慎)、
菊池、浅川、坂本 (孝) 中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	4 人	5 人	人	10 人

前回の改善計画
地域外の利用者の自宅での暮らしぶりを把握する。モニタリング、送迎など機会あるごとに情報を得る。

前回の改善計画に対する取組み結果
地域外の利用者の暮らしぶりの把握は出来ていない。送迎時も家族に会わないことが多い。自宅での暮らしぶりに関心を注いでいきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	5	3		10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	4	1	1	10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	5	3		10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	5	2	2	10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者が穴井地区の方の場合地域の方からの情報もあり生活スタイルや・人間関係など理解しやすい。送迎時に声掛けしてもらったり、公民館の行事に参加させてもらうなど地域の方との関係も途絶えない支援は出来ている。
民生委員さんから相談を受けて利用に繋がるケースもある。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
他地区の利用者については、人間関係など理解できていない場合が多い。利用日以外の過ごし方も把握できていないことが多い。
地区外の民生委員さんも把握はしているが独居の方以外は連絡を取り合ったことはない。家族で解決されるので連絡することはない。
長期に宿泊されると、本人の地元の方との交流は途絶えるが、家族の面会や自宅への外泊など行っている。独居の方は把握しやすくても、家族と同居の方の日々の暮らしぶりは踏み込んで聞きにくい。必要と思うことは遠慮しないで聞くことも必要。
地域の方と交流のない方、人間関係が悪く地域の方ももてあまして例もある。地域の方の生活を守ることを優先することもある。
地域でのつながりが切れずに支援をしても、家族が施設入所を希望され地域での暮らしが途絶えることもある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
自宅での暮らしぶりの把握に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 28 年 7 月 8 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	伊賀、今本、古能、清水、大森、大車、坂本 (慎)、 菊池、浅川、坂本 (孝) 中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	2人	4人	2人	11人

前回の改善計画	茶話会など地域の人を巻き込んでの行事を企画する。
前回の改善計画に対する取組み結果	茶話会は開催するに至らなかったが、平成 28 年 4 月 21 日、穴井公民館にて地域の方を対象とした出前介護講座の主催を行う事はできた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4	4	3		11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	10	1			11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	9	2			11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	10	1			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 公民館・たちばな・福寿会・社会福祉協議会・独居の方の見回り・小学校・中学校など地域の方たちの協力のもと支援が来ている。 ニーズに応じて柔軟に支援が来ている。地滑りの為避難勧告が出た際の緊急な宿泊や、熱中症の疑いの方の緊急の受診・宿泊など柔軟に対応することが出来た。 発熱・打ち身・便秘など気づいた変化は記録・ミーティングなどで共有することが出来た。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の方の支援だけでなく、事業所が地域に対して役立つ資源になることを考え、茶話会などを実施する事を計画したが、実行できなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 利用者だけでなく地域の方の緊急の避難なども受け入れる。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 8 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 伊賀、今本、古能、清水、大森、大車、坂本 (慎)、
菊池、浅川、坂本 (孝)、中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	5 人	2 人	1 人	11 人

前回の改善計画

介護保険の活用等出前講座を計画・実施する。

前回の改善計画に対する取組み結果

愛媛県在宅介護研修センターに講師依頼して、公民館で介護講座を実施した。地域の方、市内の介護事業所の職員など 70 名ほどの参加を得て、好評だった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	4	2	4	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	8		2	11
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	8	2		1	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	7	3	1		11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
他のサービス機関との会議の出席・包括支援センターの会議の出席などはケアマネジャーか管理者が行っている。
地域での行事には積極的に参加できている。隣の子供が来ることはある。ボランティア、小学生、中学生の訪問は定期的にある。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
登録者以外の高齢者が訪問されることはほとんどない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
ケアマネジャー・管理者だけでなく、スタッフも自治体等の会議に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 8 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)

7. 運営

メンバー 伊賀、今本、古能、清水、大森、大車、坂本 (慎)、
菊池、浅川、坂本 (孝) 中村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	9 人	人	人	10 人

前回の改善計画	苦情は無くても、日常の小さな訴えを苦情として見逃さないようにする。 気付いたことは共有し、対応策を検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	今計画期間内も苦情として捉えられる相談ごとはなく経過。しかし家族からの相談内容、その対応事項などは申し送りノートを活用し職員間で周知行った

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	6	4			10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	6			10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	6			10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	5	5			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 事業所の状況は職員会議で報告され把握しており、意見を述べることも出来ている。 管理者が地域の社会福祉協議会に参加したり、地域の方の相談に乗ったり、小中学校の実習の受け入れをしたり地域に対して貢献出来るよう努めている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 家族・利用者から苦情が上がらない。認知の症状が進んできた利用者の様子を遠方にいる家族に報告する際、具体的に説明し、ショックを受けられることがあった。相手の立場を思って言葉を選択する必要がある。運営推進会議にスタッフも出席し、地域の方の意見や委員の方の意見を直接聞く。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 苦情とは言えなくても、日頃の訴えを見逃すことなく、気付いたことは職員で共有して対応策を検討する。運営推進会議にスタッフも年 1 回は出席する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 8 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 伊賀、今本、古能、清水、大森、大車、坂本 (慎)、
菊池、浅川、坂本 (孝)、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	4 人	5 人	1 人	人	10 人

前回の改善計画
学習 (研修) して来た事は、繰り返し実施し定着するようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果
研修報告を研修に行った職員には義務付けており職員会で報告を行っている。感染症対策、レクレーションなどは研修後すぐ対策を実施し定着を図っていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	10				10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	6	3	1		10
③	地域連絡会に参加していますか	3	5	1	1	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		7	3		10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
希望する研修には参加することが出来ている。参加した研修は職員会時に報告し知識の共有に努めている。当事業所に就職してから資格取得をした職員も多く、スキルアップには積極的に努力している。誰かが研修に行っても業務に支障がないだけの人員配置がなされており、安心して研修に行くことが出来る。
地域連絡会には事業主が参加し伝達している
リスクマネジメントについてはハッとヒヤリの報告・事故報告を職員会議において確認し再発防止に取り組んでいる。
介護労働安定センターの介護職員定着プロジェクトに参加し全職員が同じ研修を受けることが出来た。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
学習してきた内容が時間とともに忘れがちになっている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
学習してきたことは繰り返し実践し定着するように努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 8 日 (18 : 00 ~ 20 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 伊賀、今本、古能、清水、大森、大車、坂本 (慎)、
菊池、浅川、坂本 (孝)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	7 人	3 人	人	11 人

前回の改善計画	<p>個人情報大切に、利用者前で他の利用者のことを話題にしない。 ミーティング中は、TVをつけたり音楽を流すなど職員の話に集中しないようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>申し送りの際はテレビをつけることで意図的に会話が聞こえないように図っている。職員間の会話の中での情報伝達も奥の和室にて行うなどできた</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	1 1				1 1
②	虐待は行われていない	1 1				1 1
③	プライバシーが守られている	4	6	1		1 1
④	必要な方に成年後見制度を活用している			1	1 0	1 1
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	5	1		1 1

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>身体拘束・虐待などは全く行われていない。玄関の施錠は 20 時以降であり、その後も家族や面会お迎えなど自由にしてもらっている。</p> <p>申し送り中は TV をつけて情報保護の配慮を行っている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>成年後見制度は対象になる方がいない。家族・親戚など後見人になる方が存在するため行っていない。</p> <p>業務中の出来事をその場で職員同士話し合い利用者の耳に入っていることがある。</p> <p>事業所の構造上プライバシーの確保が難しい。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>ミーティングの時はテレビをつけておく。利用者の前では他の利用者の報告はしない。</p>	